

週報

こひつじ

第41巻 11号
大津キリスト教会
菊池郡大津町室 119
TEL 096-293-4470
FAX 096-293-4961
牧師 米村 英二

偉大な国民

きよう、私があなたがたの前に与えようとしている、このみおしえのすべてのように、正しいおきてと定めとを持つている偉大な国民が、いったい、どこにあるだろう。(申命記 四の八)

その一 一書の人となれ

こんな偉大な国民が、いったい あった。

どこにあるだろう、とモーセはイスラエルの民について言った。神の言葉を理想としているか。

なぜ彼らは偉大な国民なのか。

偉大な民族、国家とは何によって定められるのか。彼らの持つ軍事力か、経済力か、政治力か、領土の広さか。

神がイスラエルの民を偉大な国民と言われた根拠はどこにあったか。

正しいおきてと定めとを持つているかどうかにあった。つまり神の言葉に対するその国民の態度にもつ言葉にある。思想にある。言

葉の貧しさは、そのまま国の貧しさを表していると言ってよいだろう。そこで内村鑑三は言った。「大文学を有するは国家の栄光にして威厳なり」と。

それなのに、日本にはまだ人類を動かすような文学が生まれていない。そのことを嘆いて、「何ゆえに大文学は出でざるか」と彼は問うたのである。

民族、国民の価値は、軍事力や経済力にはない。偉大な文学にあるというのが、彼の考えだった。

したがってアメリカが誇るべきものは、養豚の群れではない。鉄産業でもない。むしろエマソンやソロー、ホイットマンといった文人たちであると彼は言う。

イギリスが誇るべきものも同様で、その広大な植民地ではなくて、むしろシェークスピアの作品である。

一民族を超えて、人類を教える文学をどれだけ生んだか。そこにその民族の偉大さがあるということなのだろう。

では、人類を動かすような文学がそれらの国々に生まれたのは、どのような理由によったのか。言うまでもなく聖書に触れ、聖書に啓発されたからである。聖書なしに英文学を理解することはできないと言われるのはそのためだ。

ユダヤ民族は二〇〇年以上も祖国を失っていたが、彼らの言語、ヘブル語を失わなかった。ヘブル語で書かれた旧約聖書を読み続けたのだ。そこに民族再生の力があ

った。そういう意味からも、私がクリスチャンになって非常に感謝しているのは、聖書という、人生において読むべき基本書を得たことだ。新渡戸稲造は、彼の読書論の中で言っている。

「一書の人となれ」と。一七、八世紀のイギリスは、歴史家グリーンによると、「一冊の書物の国民」であつたという。「農夫は聖書を手にして田畑を耕し、御者は聖書を読みつつ、馬を走らせた。すべての家庭において朝夕聖書が読まれぬことはなかつた」

当時のイギリスの道德改革は、そこから始まったと言われている。人類史の中で、聖書ほど道德改革に大きな足跡を残した書物はないだろう。

そこでモーセは言ったのだ。

「きよう、私があなたがたの前に与えようとしている、このみおしえのすべてのように、正しいおきてと定めとを持つている偉大な国民が、いったい、どこにあるだろう」と。(続)

今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、第二礼拝は午前一一時から。

○説教は米村牧師。

○教会学校は午前一〇時からピクニック。場所は菊陽ボウル(三里木)。

先週の礼拝

○司会は宮本隆博さん、説教は、長岡舞子さんが一サムエル記一章からハンナの祈りがどんなものであったかを、自分の大学合格体験

記を交えて話してくださいました。ありがとうございました。

○礼拝参加者は、第一礼拝が四四名、第二が四一名、合計八六名全体を見渡すのに便利です。

(男二五、女六二)。それに子どもが八名、合わせて九四名でした。

春の特別集会案内

奈良市にある奈良福音教会の緒方賢一・智子夫妻を招いて左記のように特別集会を開きます。

三月二十九日(土) 午後三時。証

を中心にしたふたりのお話。その後質疑応答。そして交わりと軽食(食事代は献金)。

三月三十日(日) 午前一〇時(合同礼拝) 緒方牧師の説教と智子夫人の証。昼食及び質疑応答。

便り 萩原直幸

岡山大学でフランス語を教えている友人がいます。萩原直幸さんといいます。新しくできたばかりの本を送ると、いつも感想をよくしてくれます。以下は、今回の本『イエスの処方箋』について。

大寒波が到来して、外輪山も白く雪化粧しているのではないかと想像しています。風邪など召されていませんか。

さて、またまたご著書を送ってください、感謝です。私は遅読な方ですが、英二さんの本は一気呵成に読めてしまいます。文章がシンプルで明確で読みやすいだけでなく、引きつける内容、メッセージがあるからです。

今回はヨハネ福音書からですが、共観福音書と違って、特に出だしが観念的で難解なイメージを抱いていたところ、むしろ「ことば」

「いのち」「光」と、だれにも分かる言葉で書かれているという説明は、目から鱗でした。出会いの大切さを説かれています、まさに妻との出会い、そして英二さんとの出会いが私の人生にとって決定的なものでした。神のみ業に感謝です。

説教者スケジュール

四月

六日 米村牧師

一三日 西岡潤也

二〇日 米村牧師(午前一〇時半から合同礼拝。召天者記念礼拝。一二時から墓地で追悼式)

二七日 米村牧師

五月

四日 米村牧師

一一日 林田はるか

一八日 米村牧師

二五日 米村牧師

六月

一日 米村牧師(午前一〇時半から合同礼拝。ベイヤード家族来会。証と音楽の奉仕)